



公民館だより

秋号

学校ESD支援事業



天の原小学校での絵手紙交流の様子

天の原校区の住民を対象に絵手紙ボランティア養成講座を開催しました。講座は、天の原校区福祉のつどい実行委員会による、校区の75歳以上のすべての高齢者に、新型コロナウイルスに負けず元気な毎日を過ごしてもらいたいと願いを込めた絵手紙を届ける取組みの支援を目的に実施しました。8月24日の第1回目は、20名の参加で絵手紙の基礎や学校ボランティアの心得などを学習しました。10月5日は天の原小学校で絵手紙ボランティアを行い、10名のボランティアが4年生の児童39名と絵手紙で交流しました。色とりどり鮮やか

天の原校区 心を届ける絵手紙ボランティア



初めに絵手紙の基本技術を学びました。

に描かれた葉っぱや季節の果物などの絵手紙が出来上がりました。子どもたちからは「楽しかった」ボランティアさんからは「元気をもらった」など感想が聞かれました。また、宮原中学校美術部18名の生徒からも部活動の時間を利用して描き上げた絵手紙が届きました。地域と小中学校が一丸となって協力し、描き上げた約950枚の心の贈り物「絵手紙」は民生委員さんから高齢者のみなさんに届けられます。



宮原中美術部も協力

職員紹介



公民館主事 坂井 薫

勝立地区の自然と地域の皆様の笑顔に日々癒されております。いつも温かくご指導いただきありがとうございます。皆様の力になれるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

玉川校区ESD/SDGs活動委員会 が発足しました！

会長 柿川 和機

玉川まち協ではさまざまな行事を組み、校区の皆さん、玉川小学校と連携を取りながら活動しています。これからの行事を一過性に終わらせるのではなく、持続可能な開発目標に向かって取り組むため、玉川小学校、宮原中学校と連携を取りながらESD/SDGsを推進する目的で活動委員会が発足しました。

本団体は、これらの子どもたちと地域が一体となって協力し、理解し合い、絆を深め活力ある玉川のまちおこしにつなげるために行動する組織として活動していきます。

守りたい自然：里山の原風景



日明地区の田園風景と小岱山